

# 短歌

②

1

次の短歌を／を用いて五句に切りなさい。

海恋し潮の遠鳴りかぞへては少女と  
なりし父母の家  
与謝野晶子

2

次のそれぞれの短歌を読んで、後の問いに答えなさい。

A やはらかに柳あをめる  
北上の岸辺目に見ゆ  
泣けとごとくに  
ふるさとの訛なつかし  
停車場の人ごみの中に  
それを聴きにゆく

石川啄木

B

(1) Aの短歌に用いられている表現技法として最も適切なものを次のア～エから選び、○をつけなさい。

- ア ( ) 体言止め      イ ( ) 対句法  
ウ ( ) 倒置法      エ ( ) 枕詞
- (2) ———線は何を指しますか。歌中から書き抜きなさい。


(3) A・Bの短歌に共通する作者の心情として最も適切なものを次のア～エから選び、○をつけなさい。

- ア ( ) ふるさとに帰れることを喜ぶ心情。  
イ ( ) ふるさとをなつかしむ心情。  
ウ ( ) ふるさとのことがいやになる心情。  
エ ( ) 今の自分の状態に満足する心情。

3

次のそれぞれの短歌を読んで、後の問いに答えなさい。

A いちはつの花咲きいでて我目には今年ばかりの春ゆかんとす  
正岡子規

B みづうみの氷は解けてなほ寒し三日月の影波にうつるふ  
島木赤彦

C 白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まらずただよふ  
若山牧水

D みちのくの母のいのちを一目見ん一目みんとぞただにいそげる  
斎藤茂吉

(1) Aの短歌で、作者が今の季節を特別なものに感じているのはどこからわかりますか。歌中から七字で書き抜きなさい。


(2) Bの短歌はどの感覚を中心に働かせていますか。最も適切なものを次のア～エから選び、○をつけなさい。

- ア ( ) 聴覚      イ ( ) 味覚  
ウ ( ) 視覚      エ ( ) 触覚

(3) Cの短歌で、作者の心情は何に重ね合わされていますか。


(4) Dの短歌の作者の様子として最も適切なものを次のア～エから選び、○をつけなさい。

- ア ( ) 動揺している。  
イ ( ) 失望している。  
ウ ( ) 期待している。  
エ ( ) 安心している。

組 番 名前

かかった時間 正解数  
分

1 海恋し／潮の遠鳴り／かぞへては／少女となりし／父母の家

2 (1) ウ (2) ふるさとの訛 (3) イ

3 (1) 今年ばかりの春 (2) ウ  
(3) 白鳥 (4) ア

間違った問題を確認してみよう！

1

次の短歌を／を用いて五句に切りなさい。  
海恋し潮の遠鳴りかぞへては少女となりし父母の家  
与謝野晶子

2

次のそれぞれの短歌を読んで、後の問いに答えなさい。

A やはらかに柳あをめる 石川啄木

B ふるさとの訛なつかし 停車場の人ごみの中に  
そを聴きにゆく

(1) Aの短歌に用いられている表現技法として最も適切なものを次のア～エから選び、○をつけなさい。

ア ( ) 体言止め イ ( ) 対句法  
ウ ( ) 倒置法 エ ( ) 枕詞

(2) 線は何を指しますか。歌中から書き抜きなさい。

[ ]

(3) A・Bの短歌に共通する作者の心情として最も適切なものを次のア～エから選び、○をつけなさい。  
ア ( ) ふるさどに帰れることを喜ぶ心情。  
イ ( ) ふるさどをなつかしむ心情。  
ウ ( ) ふるさどのがいやになる心情。  
エ ( ) 今の自分の状態に満足する心情。

3

次のそれぞれの短歌を読んで、後の問いに答えなさい。

A いちはつの花咲きいでて我目には今年ばかりの春ゆかんとす 正岡子規

B みづうみの氷は解けてなほ寒し三日月の影波にうつろふ 島木赤彦

C 白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まらずただよぶ 若山牧水

D みちのくの母のいのちを一目見ん一目みんとぞただにいそげる 斎藤茂吉

(1) Aの短歌で、作者が今の季節を特別なものに感じているのはどこからわかりますか。歌中から七字で書き抜きなさい。

[ ]

(2) Bの短歌はどの感覚を中心に働かせていますか。最も適切なものを次のア～エから選び、○をつけなさい。

ア ( ) 聴覚 イ ( ) 味覚  
ウ ( ) 視覚 エ ( ) 触覚

(3) Cの短歌で、作者の心情は何に重ね合わされていますか。歌中から書き抜きなさい。

[ ]

(4) Dの短歌の作者の様子として最も適切なものを次のア～エから選び、○をつけなさい。  
ア ( ) 動揺している。  
イ ( ) 失望している。  
ウ ( ) 期待している。  
エ ( ) 安心している。